

たくさんの人と いっしょに 計画をすす 進めます

## おうちで



- 1 おうちで本を読もう
- 2 おうちで本のことを話そう
- 3 図書館（本がある場所）に行こう



## ほいく園・ようち園で

- 4 よい本をたくさんおこう
- 5 本を読みたくなるようにしよう
- 6 先生が読書のことを学ぼう
- 7 本を知ってもらおう



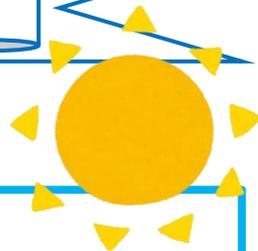
## がっこう 学校・学校図書館で



- 8 おもしろい本、学習の役に立つ本をたくさんおこう
- 9 子どもや先生が使いやすい学校図書館にしよう
- 10 子どもが本を読みたくなるようなくふうをしよう
- 11 先生や学校図書館ではたらく人が図書館や読書のことを学ぼう
- 12 学校のじゅぎょうで図書館や読書のことを教えよう
- 13 ほかの学校や学校図書館、市立図書館といっしょに読書のことをとりくもう



## しりつとしよかん 市立図書館で



- 14 えほんとふれあうたいけんをすべての赤ちゃんにとどけよう
- 15 おもしろい本、学習の役に立つ本をたくさんおこう
- 16 おはなし会やイベントをひらこう
- 17 子どもたちみんなが使いやすい図書館にしよう
- 18 ほいく園や学校に本をかそう
- 19 読書や本のことをみんなにしらせよう
- 20 学校といっしょにとりくもう
- 21 ボランティアをそだてよう、ふやそう
- 22 いろいろなしせつや人々と いっしょにとりくもう



## いろいろな場所で

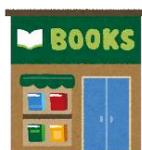
- 23 よい本をたくさんおこう



- 24 ボランティアとおはなし会をひらこう



- 25 おうちの人や子どもたちが本を読みたくなるようなイベントをひらこう



【目ひょう】読書のよろこびを

すべての子どもたちに

とどけること



## どうして読書が大切なの？

読書は、言葉を学んだり、ひょうげんする力を高めることができます。めまぐるしくかわる今の社会（よのなか）では、自分のよさや、まわりの人のよさを知って、たくさんの様々な人たちといっしょに生きていく力や人生を深く生きる力がひつようです。

子どもの読書は、子どもの「のびよう」とする心をさせる力になります。きぼうを持ってみらいへ向かうために、読書でゆたかな心を育てることが大切なのです。そして、子どものころからよく読書をしていた人は、大人になっても読書をつづけている人が多いのです。



## おうちで 読書を楽しむはじめの いっぽ

### 1 おうちで本を読もう

- 市立図書館から赤ちゃん向けの本をうけとります（7か月～1才6か月）
- おうちで本を読みます
- 子どもに読み聞かせをします（0才～小学生）

### 2 おうちで本のことを話そう

- 本のことをおうちで話題にします
- 読んだ本のかんそうをおうちで話します
- 読んでよかった本をおうちの人や子どもにすすめします

### 3 本がある場所に行こう

- 市立図書館へ行きます
- 本屋さんへ行きます
- おうちの近くやお店で本がある場所に行きます
- おはなし会や本のイベントに行きます

第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画【概要版】令和5年4月23日発行 茅ヶ崎市教育委員会 茅ヶ崎市立図書館

## だい じちがさきしこ どくしょかつどうすいしんけいかく 第3次茅ヶ崎市子ども読書活動推進計画

～読書のよろこびをすべての子どもたちにとどける～

子どもが（大人になってからも）読書を楽しめるちがさき市にするために、何をしたらいいかを考えてまとめました。

みんなが読書でよりよく生きて、幸せな毎日をすごせるまちになってほしいというねがいがこめられています。



計画のきかん：令和5年（2023年）4月から令和10年（2028年）3月まで（5年間）